

教科	社会	単元名	わたしたちの暮らしとまちではたらく人々
----	----	-----	---------------------

本時のねらい

・社会見学で見てきたお店ではたらく人々のくふうを書きだし、自分たちの生活にどう関わっているかを考えることができる。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・社会見学でそれぞれが撮影してきた写真や動画を Google ドライブで共有することで、児童それぞれが見てきた視点を共有できる。
- ・タブレット上で文章を打ち込むことで、話し合いの中で精査されても、すぐに訂正することができ、下書きとして利用できる。
- ・学習したことがタブレット上に残り続けることで、大単元で考え続ける学習課題をまとめる際の手掛かりになる。
- ・本市ではタブレット上で思考ツールが利用できないこともあり、本時でデジタル・アナログ双方を体験することで、今後の学習で児童がテーマやまとめ方に合わせて、適切なツールを選択できる力を養う。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・ミライシード（オクリンク）
- ・大型モニター
- ・Google ドライブ

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの学習内容をふりかえる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>学習課題 「街の人々は、みんなの生活を〇〇」の〇〇に入る言葉を考えよう！</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・めあての確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>めあて スーパーマーケットのひみつをさぐろう！</p> </div>	
展開 (30分)	<ul style="list-style-type: none"> ・発表するお店のくふう（各商品の陳列のくふう等）を話し合い、Google ドライブから適切な写真を探す。【写真1】 ・班で選んだ「お店のくふう」をオクリンク上でまとめる。【写真2】 ・オクリンクで作成したボードを参考にしながら、お店のくふうをプリントに書き出す。 ・壁ポスターの見やすさを考えて、貼る位置を話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会見学では、子どもたち自身で写真を撮らしてもらっているので当事者意識がより高くなる。 ・学年全員が撮った写真のすべてを共有しているため、あらゆる写真が Google ドライブに存在している。 ・それぞれが作成したボードを共有しながら、班のテーマに合わせて、お店のくふうをまとめていく。 ・作成したボードが下書きとなり、班が選んだ写真を印刷することで、円滑に発表資料を作成できる。
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ・お店の商品配置を参考にして、自分たちが書きだしたお店のくふうを壁ポスターに貼り付ける【写真3】 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童のノート等に書かれた商品配置図を大型モニターで映し出すことで、商品配置を参考にして、貼ることができる。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



【写真1】自分たちのテーマに合った写真を Google ドライブから探し出す場面



【写真2】班で選んだお店のくふうを、オクリンク上でまとめる場面



【写真3】大型モニターやタブレット内にある商品配置図を参考に貼り付ける場面

児童生徒の反応や変容

- ・Google ドライブ内の画像では自分たちが伝えたいことを伝えきれないと考え、放課後に再度お店に写真を撮らせてもらった班や、休み時間になっても話し合う班が見られる等、授業を心待ちにする児童の姿が見られた。
- ・オクリンク上で文章を即時的に修正できるため、話し合いに集中でき、読み手を意識した記事を書くことができた。
- ・国語科の学習を踏まえて、壁ポスターを見る人の視点に立って記事の配置を考える児童の姿が見られた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・児童それぞれが持っている視点を写真で共有することで、自分には見えていない視点を知り、お店のくふうに迫ることができた。
- ・写真の配置や文章をオクリンクで下書きし、班でブラッシュアップすることで、お店の工夫が、よりわかりやすい資料が作成できた。
- ・壁ポスターの読み手の視点を持ち、どのように写真や文章を構成すれば良いかを考え、全員で意見を出し合いながら学習を進めることができた。